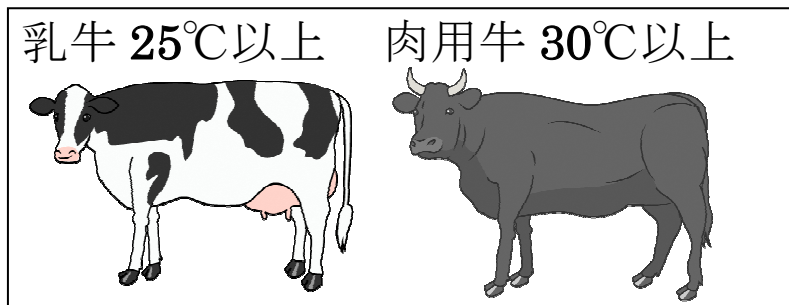


家畜衛生だより

令和5年5月発行 No.9
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

暑熱対策について（牛編）



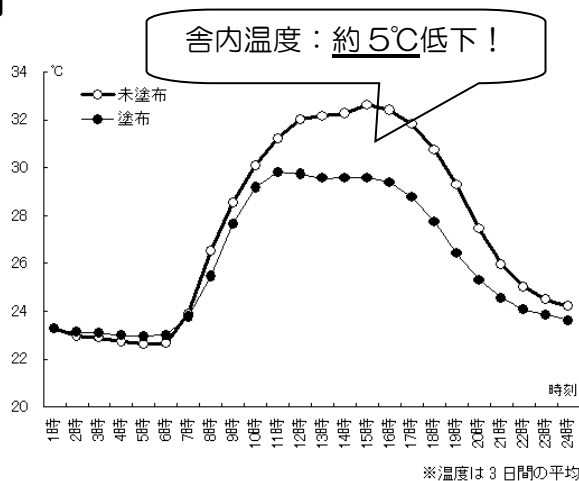
繁殖成績
生産性
低下の原因に

気象庁によると今年の夏の気温は平年並か高くなると予想されています。
暑熱対策は畜舎環境面と飼養管理面に大別されますが、これらを組み合わせることが効果的です。早めに対策を行い、夏を乗り切りましょう！

《畜舎環境面からの対策》

○ 遮光、断熱

- ・ つる性植物によるグリーンカーテン、遮光ネット、ひさしの利用
- ・ 屋根・飼料タンク等への断熱塗料やドロマイト石灰等の塗布
- ・ 牛舎周囲への消毒を兼ねた消石灰散布



○ 換気、送風

- ・ 窓の開放、換気扇や送風機の利用
- ・ 畜舎周辺の除草

ドロマイト石灰塗布による屋根裏温度の推移
県農業総合研究センター養豚研究所 研究報告より

○ 冷却

- ・ 屋根や周囲地面への散水
- ・ 畜舎内では細霧発生装置の利用、牛体への散水
(湿度が高くなり過ぎないように風通しを良くする)

《飼養管理面の対策》

- 新鮮な水を十分に飲めるようにする（ウォーターカップの点検・清掃）
- 密飼いをしない
- 涼しい時間帯（早朝・夜間など）に飼料給与し、給与回数を増やす
- 銹塩又は塩分・重曹の給与、抗酸化作用のあるビタミン、ミネラル（セレンや亜鉛）の補給
- 飼料の品質劣化に注意し、飼槽をきれいにする（残渣の除去）
- 毛刈りをする

《特にリスクが高い牛について》

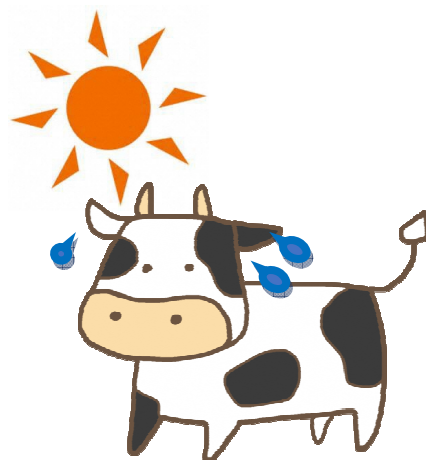
高泌乳、分娩前後、肥満、基礎疾患（乳房炎、肺炎、腸炎）等がある個体は、重篤な熱射病を起こしやすくなります。涼しい場所へ移動させましょう。

《以下の症状が認められた場合はすぐに対応を！》

- 飼料の食込み量低下（残飼の増加）
- 目の充血、ひどいよだれ、呼吸が荒い



- 四肢から胸へと徐々に水をかける
- 送風で体を冷やす
- かかりつけの獣医師の診察を受ける



暑熱の影響は秋以降の生産性低下にもつながります。

早めに対策を実施し、暑熱被害を最小限に抑えましょう！

**暑熱対策のご相談やドロマイト石灰塗布用動力噴霧機
についてのお問い合わせは、庄内家畜保健衛生所まで**

電話番号 0235-68-2151